

第3回城東学園小中一貫校整備検討委員会

日時：令和6年10月30日 午後7時～

場所：大東北公民館集会室

次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 前回の振り返り

(1) スケジュール確認

資料1-1, 1-2

(2) 議事録の確認（前回の意見と事務局対応の確認）

資料2

4 報告事項

(1) 地域説明会のアンケート集計について

資料3

(2) ご意見募集フォームに寄せられた御意見について

資料4

5 協議事項（委員長進行）

(1) 施設整備コンセプト・基本方針について

資料5

(2) 新しい学校の整備コンセプトについて【ワークショップ形式】

資料6

(3) 学校の建設候補地について（候補地決定）

資料7

6 今後の予定等について

(1) 「城東学園小中一貫校整備検討委員会だより」第3号の発行について

資料8

(2) 地域説明会の開催について

資料9

(3) 生徒・教職員・保護者アンケートについて

7 閉 会

次回 第4回検討委員会 日時：11月21日（木）午後7時～

会場：大東北公民館集会室

資料10

第3回城東学園小中一貫校整備検討委員会 座席表

青副 野委 孝員 善長	石委 川員 春長 乃

土方地区区長会 高塚 義巳		市議会議員 嶺岡 慎悟
土方地区まち協 青野 孝善	進	土方小学校保護者 角替 孝司
きとうこども園保護者 松原 早紀	発	土方小学校校長 鶴田 伸司
		子ども育成支援協議会 水野 優美子

市議会議員 石川 紀子		佐東地区区長会 鈴木 久志
佐東地区まち協 村田 敬子	進	佐東小学校保護者 栗田 和之
城東中学校校長 柴田 勝明	発	きとうこども園保護者 土井 彩子
		佐東小学校校長 大竹 佳子

中地区区長会 松下 隆		中地区まち協 近藤 保雄
城東中学校保護者 村松 一幸	進	中小学校保護者 松本 一茂
きとうこども園保護者 松下 承美	発	中小学校校長 村松 裕幸
		きとうこども園園長 望月 美矢子

進

進行

発

発表

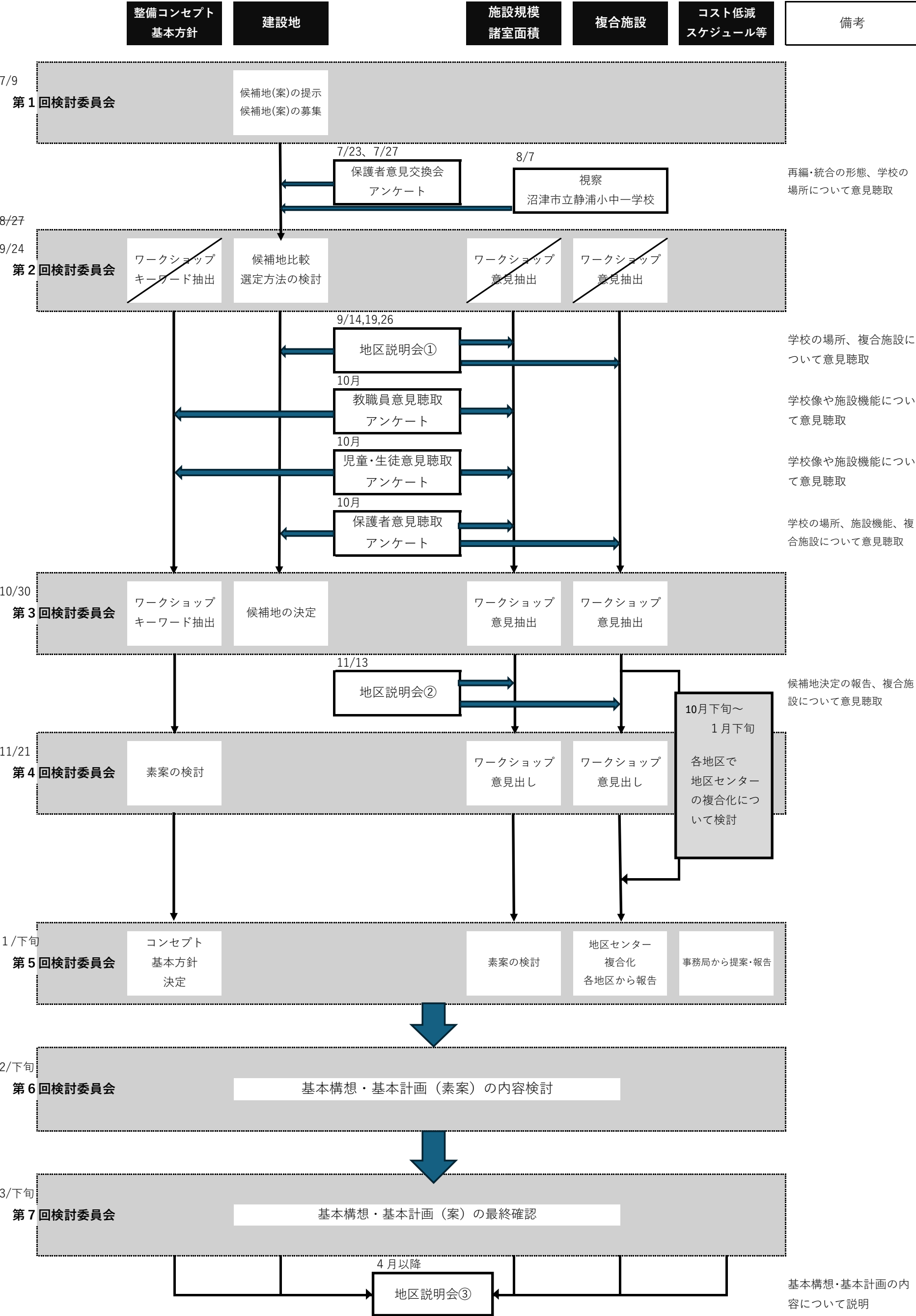
土屋	水谷	石山	縣
信二郎	忠史	尚哲	友紀
アルパック	アルパック	アルパック	

城東学園小中一貫校整備検討委員会検討スケジュール

資料 1 - 1

第 3 回検討委員会ver

日付		基本コンセプト 基本方針	施設建設地	施設規模 諸室面積等	複合施設	コスト低減 スケジュール等	備考
8/27 9/24	第 2 回	○ (ワークショップ) キーワード出し	○ データ等比較検討 選定方法決定	△ ワークショップで出 る意見を抽出	△ ワークショップで出 る意見を抽出		
次回までの検討事項等		建設地選定のための評価票の記入、ワークショップの意見出し					
10月1日	地区役員 との協議	地域公共施設（主に地区センターを想定）の複合化検討に向けた地区役員と市担当課との協議					資産経営課主催
9月中旬	地区説明会	経過説明、整備コンセプト・建設地について意見聴取 中地区：9/14（土） 土方地区：9/19（木） 佐束地区：9/26（木）					地区ごとに 3回行う
10月	アンケート	学校教職員・児童生徒向け・保護者向け （どんな学校にしたいか、施設・機能についてをメインに聴取する）					実施方法は 要検討
10月30日	第 3 回	○ (ワークショップ) キーワード出し	○ 候補地決定	△ ワークショップで出 る意見を抽出	△ ワークショップで出 る意見を抽出		
次回までの検討事項等		ワークショップの意見出し、各地区で複合施設（主に地区センター）についての検討（第 5 回までに）					
11月13日	地区説明会	検討委員会として候補地を決定したことを報告し、意見を求める					3 地区合同 1 回で行う
11月21日	第 4 回	○ WS の意見をもとに 素案検討		○ (ワークショップ) 施設・機能について 意見出し	○ (ワークショップ) 複合化について 意見出し		



城東学園新たな学校づくりに向けた中・土方・佐東地区地域説明会アンケート結果

<実施概要>

実施方法：9/14~9/26 に開催した地区説明会の参加者に調査票を配布・回収及び HP 掲載

中の WEB アンケートにて回答

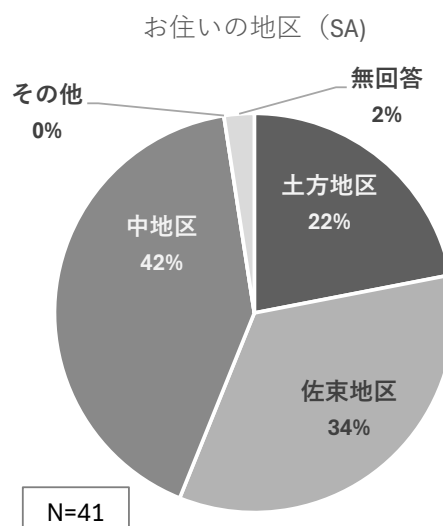
実施対象者：中地区、土方地区、佐東地区の居住者

回答者数：41 名

回収期間：令和 6 年 9 月 14 日～10 月 6 日

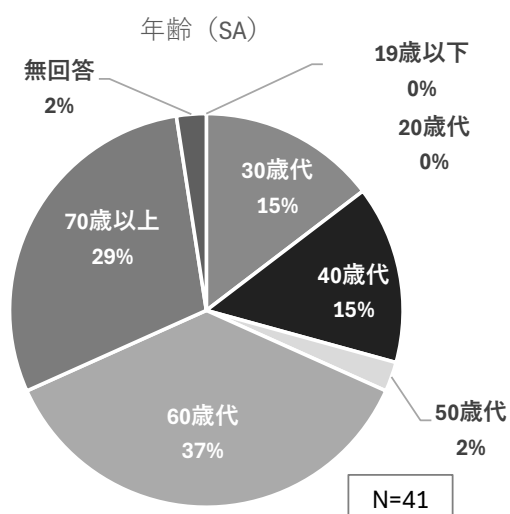
①あなたが住いの地区を教えてください。

項目	人数（人）	割合(%)
土方地区	9	22.0
佐東地区	14	34.1
中地区	17	41.5
その他	0	0.0
無回答	1	2.4
合計	41	100.0



②年齢

項目	人数（人）	割合(%)
19 歳以下	0	0.0
20 歳代	0	0.0
30 歳代	6	14.6
40 歳代	6	14.6
50 歳代	1	2.4
60 歳代	15	36.6
70 歳以上	12	29.3
無回答	1	2.4
合計	41	100.0



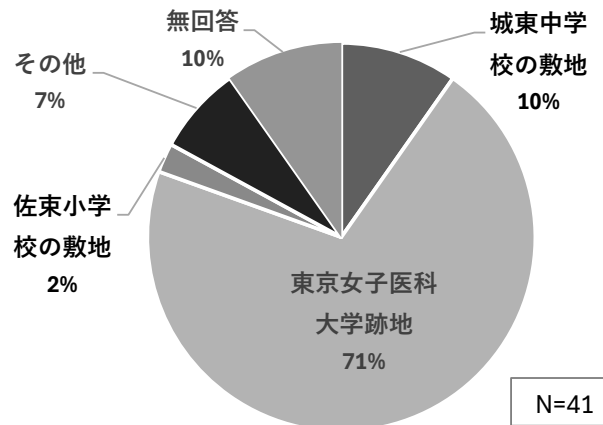
資料 3

③小中一貫校の建設地について、どこが最も適していると思いますか。(1つ選択)

理由も併せて。

適した建設地はどこだと思いますか (SA)

項目	人数(人)	割合(%)
城東中学校の敷地	4	10
東京女子医科大学跡地	29	71
佐束小学校の敷地	1	2
その他	3	7
無回答	4	10
合計	41	100



【城東中学校の敷地を選択した理由】

- ・交通の便が良い。
- ・駐車場がたくさんあるから
- ・位置的に城東地区のほぼ中心になる。地盤もしっかりしていると思われ、防災面でも可。

【東京女子医科大学跡地を選択した理由】

- ・すでに何もなくて整備しやすいため。
- ・すべて新しくして安全に過ごせると思うから。
- ・広いから
- ・広い敷地。全く新しい施設を作ることができる。新たな教育推進。
- ・災害に強い広域避難所としての有効利用に最適です。
- ・城東中と東京女子医大の両方の活用もできるかもしれない。通路をつないで。現在ある学校敷地内では工事に支障があるのでは。建設も、授業にも。
- ・跡地を利用したらと思います。
- ・跡地利用と中心地なので適していると思う。
- ・中地区から一番近くにあり更地になっていて建設しやすいから。
- ・中地区距離がネック。一番近いから。
- ・安全面から。隣接型もよい。(城東中⇒中学校、女子医大⇒小学校)
- ・地区による反発が少なく、地区の中心となる場所なので。
- ・グラウンドも近い。幼稚園も近いので一番いいと思う。バスも通っている。(中、土方の上だけが心配)
- ・一番問題がないと思われるため。工事も順調に進んでいくと思われるから。
- ・工事中でも学校運営に関係なく、工事が進むから。
- ・学校を作るに適した所に女子医大を作っているのであろう。公園、こども園も隣接し、子供のかかわりが広げられる。
- ・どこの地区からも距離が同じ位だから。
- ・山の上の学校！夢があって良いかな。緑に囲まれ四季の花が咲き自然を五感で感じてほしい。三地区の真ん中で良いかな。

- ・仮設校舎建設費用がかからないから。
- ・土砂災害のリスクを減らすことができるから。
- ・既存の四つの小中学校の教育活動を止めることなく、スムーズに移行させることができると思うから。

【佐束小学校の敷地を選択した理由】

- ・人の目につきやすい立地のため。

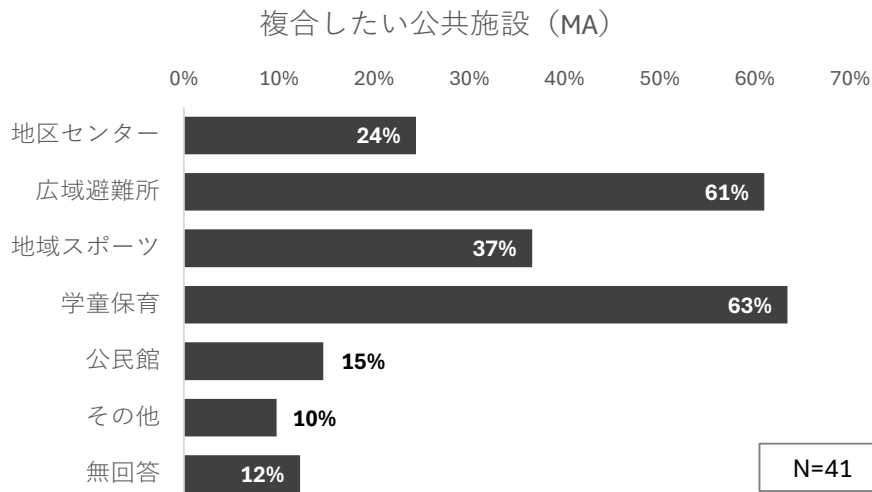
【その他を選択した理由】

- ・普通に考えれば1番真ん中(どこからも通いやすい)になるが、遠い所の児童の通学をどうするかとセットで決めるべき。又、学校から遠いエリアの児童減少をくい止める施策も併せて検討するべき。
- ・土地の有効利用。北グラウンド、テニスコートを現在の城東中学へ移設。

【候補地を選択していない無回答者の理由】

- ・建設を決める前に通学手段の説明をしてほしい。
- ・再編の基本計画を先に進めるべき。
- ・地区の中央であり、用地取得の必要ない、用地減少であれば周辺の整備をすれば事足りる。

④小中一貫校に複合したい公共施設とその理由を教えてください。(複数選択可)



項目	回答数(人)	割合(%)
地区センター	10	24%
(理由)		
・近くに市の施設があると助かるから。		
・必要だと思うから。		
・共用できる施設ならば不特定多数の人が利用できる、学校施設との警備が必要だが。		
広域避難所	25	61%

(理由)		
・近くに市の施設があると助かるから。 ・城東中学校に隣接している。 ・必要だと思うから。(4) ・複合化にするほうが良いと思う。 ・様々な機能を組み込めたらいい。 ・現在の体制、体育館では、冷暖房・トイレ施設がなく、真冬に対応できない。 ・災害対策が一番。 ・共用できる施設ならば不特定多数の人が利用できる、学校施設との警備が必要だが。 ・子どもたちの安全と近隣の住民の安全のためになる施設が良いと思ったから。 ・中学校も同じ校舎(または隣接)になると広い体育館も必要だと感じました。しかし、部活動は無くなっていくので地域スポーツクラブや広域避難所など地域の方も利用できる施設があると便利だと思います。		
地域スポーツ	15	37%
(理由)		
・スポーツ人口が増えるのでは。 ・城東中学校に隣接している。 ・必要だと思うから。(3) ・複合化にするほうが良いと思う。 ・様々な機能を組み込めたらいい。 ・地域スポーツは地域に開かれた学校であるべきだから。 ・中学校も同じ校舎(または隣接)になると広い体育館も必要だと感じました。しかし、部活動は無くなっていくので地域スポーツクラブや広域避難所など地域の方も利用できる施設があると便利だと思います。		
学童保育	26	63%
(理由)		
・移動が大変なため。(2) ・必要だと思うから。(2) ・複合化にするほうが良いと思う。 ・様々な機能を組み込めたらいい。 ・両親が勤め人の場合は学童保育施設が必要と思われるから。 ・子どもたちの安全と近隣の住民の安全のためになる施設が良いと思ったから。 ・登下校の方法はまだわかりませんが、保護者の送り迎えが必要になった場合仕事の都合で朝や放課後預かってもらえる学童は必須になるかと思っています。		
公民館	6	15%
(理由)		
・北公民館も古くなっている。職員が常にいてくれると安心。		
その他	4	10%

(理由)		
・ 公共施設は今まで通りでいい。 ・ 地域が手を繋ぐことで地域が豊かになるから。		
無回答	5	12%
(理由)		
・ 広く交流できる。城東中敷地に別途作ってもよい。		
合計	41	

【その他】

- ・ 図書館
- ・ 地域包括支援センター・南部大東ふくしあの方所・交通の集積所(タクシー、デマンドバス、静鉄バスなどの拠点)・障害者を対象にした基幹相談支援センター

⑤自由意見

- ・ 10 年先をにらんで少しずつ計画が進められていることがわかりました。ありがとうございます。
- ・ スクールバスをやって欲しい。中地区はバス路線がないので考えてほしい。
- ・ モデル校となるような計画を立てて頂きたい。中地区はすべてバス。
- ・ 意見、質問に対する回答は原則公開とすべき。
- ・ 大東町、20 年で約 3000 人減とのこと。この先の減少がさらに心配。現在の統合でよいか不安になる。
- ・ 児童生徒の通学時間が大きく変わる。バス運行の規則も併せて、計画から示して欲しい。
- ・ 一部の声の大きい人の納得を得ることは難しい。説明会を聞いたことを区切りとして、早く進めてほしい。毎回、初回の説明のくり返しの説明会になってしまうので、話が進展していることが分かる過程を見せてほしい。
- ・ 佐束のことだけを言ってもいけないので、場所は 3 地区の中間が良い。
- ・ 佐束小学校及び佐束幼稚園の跡地について、同時にどうしたら良いかを考えていくべきと思います。個人的には医療センタービルを作ったほうが良いと思います。掛川市南部の個人開業医が無くなっているとの話を聞いているので、例えば中東遠から独立したい人を取り込むなどすれば、学校が無くなることで地域(佐束)が廃れると思われる方の不安は取り除けるのではないかと思います。中小、中幼、土方小、土方幼の跡地利用について、新しい学校ができると同時に進められるように、スピード感を持って進めて欲しいと思います。
- ・ 参加する人に年齢制限をかけないと話が進まない。子供らに安全な学校を作るのが最優先なので、そちらを中心に考えてほしい。高齢者の意見はいらない。子供ら優先。建屋優先。
- ・ 0 歳～小学 3 年生の子供の親に聞いてほしいと思うのですが、説明会の日時を考えたほうが良いと思います。
- ・ 人口減少が進む中、地域全体の人口増加の手立てを考えた先を考えてもらいたい。

- ・複合化した方がよい施設と、集中させずむしろ分散させたほうが良いものを分けて考える。1か所集中は周辺部をよけい荒らすことにつながり、獣害等が増えるだけ。むしろ図書館や体育館などは周辺部へ分散させて、その住民にもメリットがあると感じてもらう方が良いのでは。他にもまだありますので又送信します。
- ・本日の佐束での意見で医療施設の今後について上がりました。佐束小跡地等の利用は積極的に出来るとまた良いかと思いましたが、魅力ある地域作り、お年寄りのコミュニティや子どもがわくわく遊べる居場所が地域のあちこちに出来ると良いです。
- ・学校再編計画を進めていただきありがとうございます。
母校が閉校してしまう寂しさが大きくありますが、地域の子どもの減少を見越して、学校再編計画を進めていかなければならないと思うし、とても重要なことだと思います。異常気象が続く今後の気候変動を考え、防災対策、避難所機能、エアコン設置等検討していただき、子どもたちや地域にとって安全・安心ができる心のより場となる学校づくりをお願いします。
- ・限られた敷地内の中で校舎や運動場、駐車場などを造るのは難しいと思います。
また、子供たちの通学方法や通学路がどうなるのかが一番不安なところです。保護者が送迎となると駐車場をある程度確保しないといけないと思います。中地区から小学生が徒歩で通うのは大変厳しいです。
保護者の送迎以外の通学方法を設けてもらえるのか、それは可能なのか知りたいと思います。
- ・少子化が深刻化している現在、小中一貫校は必要な選択だと思います。実際我が子のクラスは同級生が12人。一年生は10人未満と少ない人数で学校生活がスムーズに行えるか、保護者の役員の負担はどうなっていくのかなど心配な事ばかりなので早く進めていただきたいのが本音です。しかし、子どもも保護者も安心して通える学校であってほしいと願います。なのでスクールバスや学童保育は必要だと感じますし、災害時にも安全な場所に建てていただきたいと思うので、慎重に進めないといけないのかなと感じました。
そして、現在小学校で行われている総合の学習では、地域の農作物や歴史などを地域の方から教えていただいています。そういった地域の関わりがある事で子ども達も安心してのびのび生活出来ている所は田舎の良いところではないかと思います。一貫校になる事で地域の方との交流が無くなり、疎遠になる事は寂しいので3校が合同になり、校舎が遠くなってしまっても継続していただきたいと思いました。

ご意見募集フォームに寄せられた御意見について（9月～10月分）

検討委員会だよりに掲載した学校再編に関する専用のご意見フォームにお寄せいただいたご意見の内容について報告いたします。

<検討委員会のホームページ> を立ち上げました！QRコードからアクセスできます➡ 	<専用のご意見フォーム> にご意見をお寄せください➡ 
---	---

【通学支援について】

- ・しずてつバスを利用して通えないか。
しずてつさんにもシオーネから駅方面等路線を増やしてもらうなど必要かと思うが、井崎のバス停あたりなら便がよさそう。

【子育て世代の意見】

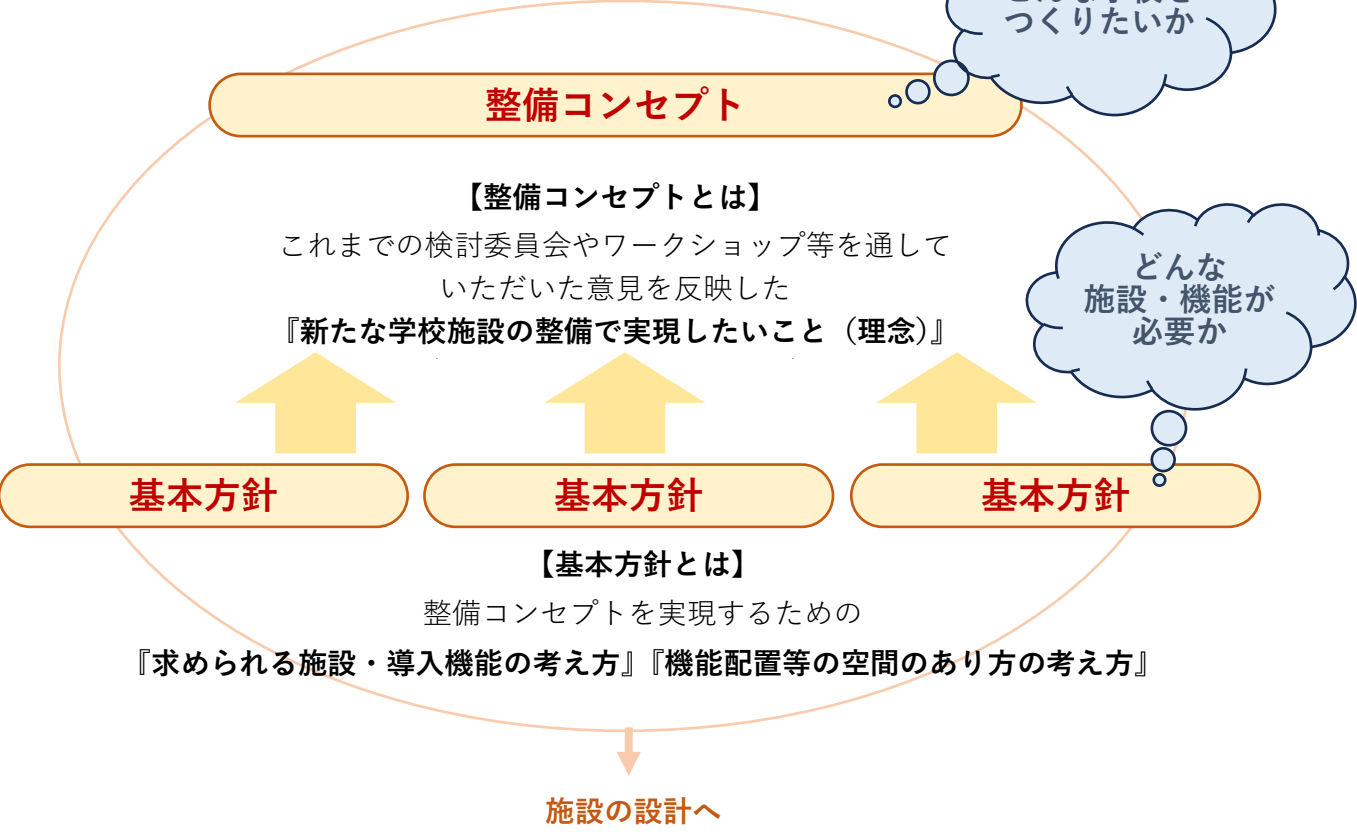
- ・高齢者の意見を排除し、子育て世代の意見を真面目に検討していただきたいので、若い世代が参加しやすいように、ぜひ高齢者の威圧的な方を出席させないでいただきたい。

【小中一貫教育のデメリット】

- ・一貫教育のメリットが多く出されているが、デメリットも出して検討すべき。例えば、小1でいじめの被害者や不登校になった場合、9年間子どもの人間関係が変わらず、解消できないこともありうる。

施設整備コンセプト・基本方針について

施設整備コンセプト・基本方針とは



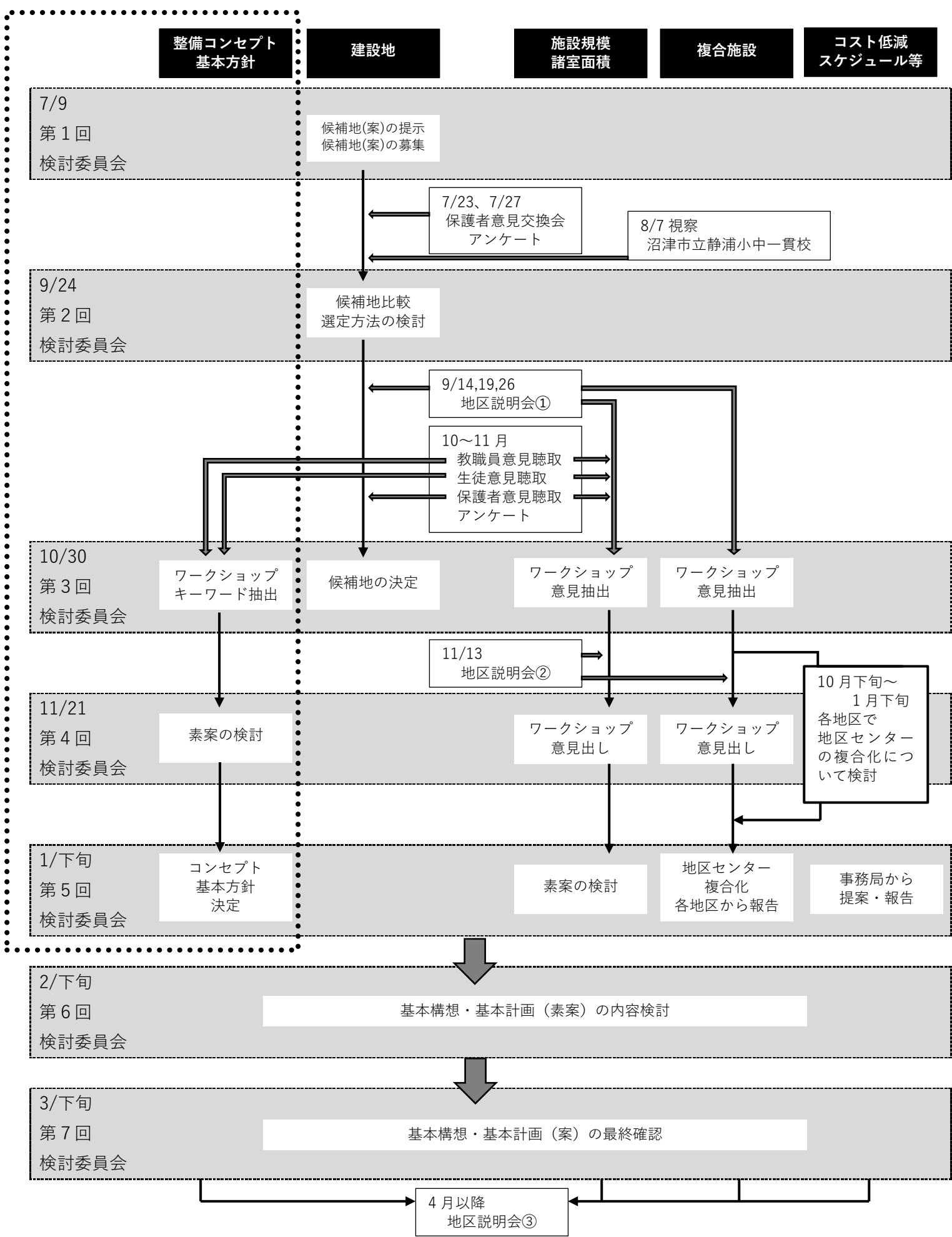
参考：原野谷学園小中一体校における整備コンセプト

原野谷からはじまる、夢と希望に向かう
新たな共創のまなび舎

- 原野谷学園の地域性や現状を踏まえ、小中一貫教育を推進するためにふさわしい学校の在り方は、小中学校「施設一体型」の学校の整備が望ましい。
- 小中一貫教育の研究（小・中学校が強く連携し、一貫性のある教育を実施する）は、原野谷学園で早くから進められており、新しい学校についても掛川市において小中一貫校のモデルとなる学校づくりを目指す。
- 児童生徒ワークショップでは『夢』というキーワードが多く出された。これらの意向を尊重し、普段から学校で学び、生活する子どもたちが、前向きに過ごすことができる学校づくりを目指す。
- 原野谷が育んできた児童・生徒の縦と横のつながり、そして地域とのつながりを活かした協働的な学びを実現する学校づくりを目指す。

- 基本方針**
- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間づくり
 - ② 児童生徒の心のゆとりを生む、健やかな学習・生活空間づくり
 - ③ まわりの豊かなみどりに調和し、自然を感じることでできる施設づくり
 - ④ 地域とのつながり・交流を大切にし、ともに創造する共創空間づくり
 - ⑤ 児童生徒の安心・安全に配慮した地域の防災拠点づくり
 - ⑥ 教職員の働き方に配慮した学校づくり

【施設整備コンセプト・基本方針の整理の進め方】



ワークショップの実施方法について

1 ワークショップのテーマ

- ・新しい学校へ継承したいこと
(学校の特徴、伝統、大切に思うこと)
- ・新しい学校に望むこと
(施設面に限らず、学校の教育や様々な活動についても含めて)

ヒントは皆さんに御提出いただいた、委員長提出アンケートの集計にもあり！

2 グループ

お座りいただいた席ごとに3つのグループでワークショップを行っていただきます。

3 ワークショップの方法

①	各自で	・テーマに沿った意見・アイデアを付箋に書き出す。 内容が分かるように具体的に・簡潔に！	8分
②	グループで	・名簿に記載された役割分担に沿ってグループワークを行う。 ・①で付箋に書き出したものをグループ内で発表して、共有する。発表する際には、意見の具体的な内容や背景を説明するのもOKです（1人1分を目安に）。 ・③で発表するために、キーワードを5個程度にまとめる。	24分
③	全体で	・1グループ2分で発表して、全体で共有する。 すべてを万遍なく発表しなくてもOKです。 特徴的なものを具体的事例もあわせて紹介してください。	6分

4 注意事項

- ・発言は簡潔明瞭に。
- ・人の意見は最後まで聞く。
- ・人の意見を否定しない。
- ・このワークショップは結論を1つにまとめるものではありません。できるだけたくさんの御意見を出していただくようにお願いします。



※各グループには事務局の職員がいますので、方法等で不明な点などがありましたら質問してください。

城東学園学校建設候補地評価 集計結果

資料 7

指標		考え方	配点	候補地 1	候補地 2	候補地 3	備考
				城東中学校	東京女子医大跡地	佐束小学校	
敷地条件 (10点)	敷地面積	配置イメージ図等を参考に、学校で必要となる施設・設備が配置できる広さが確保できるか。駐車場が欲しい等の要望をかなえられることが出来る広さがあるか。 【十分な面積を確保できる場合に高評価】	5				
	敷地形状	施設を整備する際に、敷地の形状や既存の構造物（河川や道路）等によって、施設の配置が制約されることはないか。 【制約が少なく自由度が高い場合に高評価】	5				
交通の利便性・安全性 (15点)	通学経路の安全性	子どもたちが安全に通学できると思われるルートで通学路の設定が可能か。歩道や横断歩道の整備状況、交通量の少ない道路を使って通学ができるか。 【安全性が高い場合に高評価】	5				
	道路幅員等	学校周辺の道路はスクールバスや緊急車両がスムーズに進入できる道路幅員があるか。保護者の送迎などで学校周辺を通行する車両が増えたとしても渋滞が発生しにくい場所であるか。 【周辺の道路環境が良い場合に高評価】	5				
	長距離通学者	長距離通学者の割合 【長距離を通学する子どもの数が少ない場合に高評価】	5				
周辺環境（５点）	騒音・振動・臭気等の有無	落ち着いて学校生活ができる環境であるか。 【良好な環境であれば高評価】	5				
防災面 (15点)	危険度（浸水）	ハザードマップ等における指定状況 【危険性が低ければ高評価】	5	5.0	5.0	2.0	
	危険度（がけ崩れ）	ハザードマップ等における指定状況 【危険性が低ければ高評価】	5	1.0	3.0	5.0	
	危険度（液状化）	ハザードマップ等における指定状況 【危険性が低ければ高評価】	5	5.0	5.0	5.0	
地域連携 (10点)	こども園との連携	こども園との交流のしやすさはどうか。 【交流がしやすい環境であれば高評価】	5	3.0	5.0	1.0	
	地域との連携	３地区の住民が学校に行きやすい場所であるか。 学校までの距離、地域住民の皆さんも駐車できる十分なスペースが確保できるか。 【学校と地域が連携しやすい場合に高評価】	5				
経済性 (10点)	用地の新規取得、造成の有無	施設建設以外に要する費用がどれくらいあるか（用地取得費や造成費等） 【安価に整備ができる場合に高評価】	5	3.0	3.0	4.0	
	通学支援対象者	通学支援対象者の人数 （現行基準：小学生 4 km以上、中学生 6 km以上、再編後は小学生 3 km以上を想定・・・正式決定ではありません。） 【通学支援対象者が少ない場合に高評価】	5				
迅速性 (５点)	開校までに要する期間	開校までに要する期間の長さはどうか。 (開発申請の手続きや造成等の期間も含めて評価) 【短期間で整備できる場合に高評価】	5	3.0	4.0	3.0	
都市計画（５点）	都市計画・まちづくり	跡地活用の可能性等も考慮し、候補地周辺地域及び土方・佐束・中地区全体に対する都市計画やまちづくりへの影響はどうか。 【３地区にとってより良い影響があるものを高評価】	5				
総合得点			75				

2024 年
11 月 8 日
発行

城東学園小中一貫校 整備検討委員会だより

発行：掛川市教育委員会

第 3 号

＼第 3 回検討委員会を開催しました／

令和 6 年 10 月 30 日大東北公民館にて、第 3 回目の「城東学園小中一貫校整備検討委員会」（以下、検討委員会）を開催しました。第 3 回は建設地の決定と整備コンセプト検討のためのワークショップを行いました。

【建設地を決定しました！】

建設候補地の比較資料、追加の調査情報等を踏まえて、検討委員会として小中一貫校の建設地を決定しました。

建設地は、＜〇〇〇〇〇〇＞です。

建設地

検討委員会で項目ごとに評価を行い、合計評価点数〇/75 点と一番評価が高く、また以下の項目について特に評価が高かったことから候補地を決定しました。

今後、市としての建設地の検討を行っていきます。

保護者説明会、地域説明会やオンラインご意見フォーム等の様々な場で、多くの皆様から建設地の関するご意見をいただきありがとうございました。建設地検討の資料とさせていただきます。

【建設地決定の評価の判断基準】

敷地条件

校舎やグラウンド、駐車場など配置できる十分な広さがあるか。学校運営・子どもたちの学校生活にあたり制約が少ない形状か。



交通の利便性・安全性

通学路の安全性が確保できるか。スクールバスや緊急車両が侵入できる、送迎等で支障が出ない道路幅が確保できるか。長距離通学者の割合。



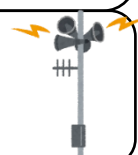
周辺環境

落ち着いて学校生活ができる環境であるか。



防災面

浸水や液状化、がけ崩れについて、ハザードマップ上で影響が少ない土地か。



地域連携

地域の住民が訪れやすい場所か。こども園との交流がしやすいか。



経済性

学校の施設を建設する以外にかかる費用がどれくらいあるか。通学支援の対象者はどのくらいか。

都市計画

都市計画や閉校後の跡地活用を踏まえて、まちづくりに望ましいか。

迅速性

開校までに要する時間はどれくらいか。



城東学園小中一貫校整備検討委員会だより

【追加の調査情報】

【候補地の比較】

	城東中学校	東京女子医科大学跡地	佐束小学校+佐束幼稚園跡地
現況図 (同縮尺)	面積:35,045 m ² 	面積:34,120 m ² 	面積:26,989 m ²
比較	・市有地のため用地取得の必要性がない。 ・土砂災害対策のため造成が必要。大掛かりな造成になるため、令和13~14年度開校を想定。 ・こども園との連携が比較的、図りやすい。 ・工事期間中、グラウンドが長期間使用できない。	・市有地のため用地取得の必要性がない。 ・土砂災害対策のため造成が必要だが、更地のため小中学校の生活に大きな影響なく整備が可能。令和12年度開校を想定。 ・こども園との連携が図りやすい。 ・敷地内は高低差があり、造成方法によっては敷地外にグラウンド等の整備が必要。	・学校・園敷地は市有地だが、周辺の用地取得が不可能。敷地として十分な広さがない。 ・大掛かりな造成工事の必要がないため、仮設校舎を建てた場合でも、令和12年度開校を想定。 ・敷地は概ね平坦で整形。 ・工事期間中、グラウンドが長期間使用できない。

【7/23・27 開催 城東学園保護者意見交換会】【保護者意見交換会に関する WEB アンケート】でのご意見



小中一貫校についてどう
思いますか？

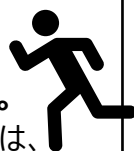
- ・子どもがたくさんいることで学べることもあると思う。一方、場所によるがバスで通わせることに不安も感じる。子どもの事を一番に考えて進めてほしい。
- ・現在、こども園と中学生の交流が増えていて、良いことだと思っている。小学生も一緒になってどんどんやってほしい。

※詳しくは検討委員会のホームページ、「保護者意見交換会」、「皆様からの意見はこちら⇒」をご覧ください！



次回は！【整備コンセプト】と【複合施設】等の検討を予定しています。

第4回城東学園小中一貫校整備検討委員会では、整備コンセプトと複合施設について検討を行う予定です。



第4回検討委員会

日時：令和6年11月21日（木）

日時：大東北公民会集会室

※傍聴を希望される方は前日までに 教育委員会 教育政策課 までお申し込みください。

＜検討委員会のホームページ＞

を立ち上げました！QRコードからアクセスできます⇒



＜専用のご意見フォーム＞

にご意見をお寄せください⇒



これから検討委員会の状況は、**各戸配布のおたより**、また**市のHP**でも地域にお知らせをしていきます。
今後も地域・保護者の皆様への説明会を開催予定のため、是非ご参加ください！

ご意見・ご質問等ございましたら、**掛川市教育委員会 教育政策課 学校再編室**までお問い合わせください。

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1 TEL：0537-21-1155 FAX：0537-21-1222

城東学園

新たな学校づくりに向けた

第2回

地域説明会

日時

11月13日（水）

午後7時～8時

場所

大東北公民館

〒437-1434 掛川市下土方 267-1

🍁 事前の申込みは不要です。
直接会場までお越しください。

<内容>

城東学園小中一貫校整備検討委員会の検討状況の報告

第3回検討委員会において、検討した内容をお伝えします。

〔一貫校の建設候補地の選定結果について御報告する予定です。〕

令和 6 年 10 月 30 日

城東学園小中一貫校整備検討委員会委員 各位

掛川市教育委員会
教育長 佐藤嘉晃

第 4 回城東学園小中一貫校整備検討委員会の開催について(通知)

錦秋の候、貴殿におかれましては益々御健勝のことと存じます。

日ごろより掛川市の学校教育について御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、第 4 回城東学園小中一貫校整備検討委員会を下記のとおり開催いたします。御多用の折申し訳ありませんが、御出席いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和 6 年 11 月 21 日(木) 午後 7 時から
- 2 会場 大東北公民館
住 所：〒437-1434 掛川市下土方 267 番地の 1
電話番号：0537-74-2200
- 3 内容
(1) 新しい学校の整備コンセプトについて
(2) 公共施設の複合化について 等
- 4 その他
・ 欠席される場合には、お手数ですが下記担当まで御連絡をお願いします。

〒436-8650 掛川市長谷一丁目 1 番地の 1
掛川市教育委員会 教育政策課 学校再編室
担当：土屋、石山、縣
TEL 0537-21-1155 FAX 0537-21-1222
gaku-somu@city.kakegawa.shizuoka.jp

ワークショップの実施について

(第4回検討委員会資料)

第4回の検討委員会では2つのワークショップを行う予定です。

・ワークショップ①のテーマ 整備コンセプトを考えよう！

第3回検討委員会のワークショップでコンセプトを考えるためのキーワードの抽出を行いました。第4回の検討委員会ではこれを文章化するためにグループ内で話し合ってください。キーワードは本日、各グループから出た御意見を事務局でとりまとめたものを、後日、委員の皆様にお送りします。

ワークショップの進め方についても、その際に詳細をお伝えします。

・ワークショップ②のテーマ 城東学園小中一貫校の機能と構成について

新しい学校にあったらよいと思う施設や機能について意見を出し合ってみましょう。

小中一貫校に整備する諸室の構成について検討するためのアイデア出しとなります。特色ある学校づくり、使い勝手のよい学校、居心地のよい学校をつくっていくために、どんな施設や機能があったらよいかを様々な視点から検討をお願いします。

2 アイデア出しを行う際の視点

①付箋の色…黄 子どもたちの学びの場、生活の場として あったらよいと思うもの	②付箋の色…ピンク 教職員の働く場として あたらよいと思うもの
③付箋の色…緑 地域とともにある学校として あたらよいと思うもの	④付箋の色…青 保護者の立場から学校にあたら よいと思うもの

上記の4つの視点からアイデアを出していただくようにお願いします。

本日、各色の付箋を10枚ずつ委員の皆様にお配りします。各色5枚を目標に記入していただき、第4回の検討委員会の際にお持ちください。

上記の4つの視点以外でもこれは！と思うものがあれば追加していただいて構いません。第4回の検討委員会でグループでの意見出し、全体共有を行う予定です。

